



実りある夏休みを

校長 岸 知聡

1学期も終わりを迎え、いよいよ夏休みに入ります。今年度の1学期を振り返りますと、運動会は2年ぶりに全校で実施することができ、どの学年の生徒も全力で競技に取り組み、達成感を得るとともに、学級・学年・学校全体の絆を深める行事となりました。また、地域行事や小学生への支援、校内の草むしりや花の植栽など、さまざまな場面において積極的にボランティア活動に参加した一中生の活躍が光る1学期でもありました。

明日からの夏休みは、心身を休めるとともに、家庭においてさまざまなことに挑戦することのできる貴重な機会です。また、1学期を振り返り、自らをさらに成長させ、2学期に向けてよいスタートを切るための準備を行う大切な期間でもあります。先日実施した三者面談では、1学期の学校生活や学習の様子を振り返るとともに、今後の課題や2学期に向けた助言、夏休みの過ごし方等について話し合われたことと思います。生徒の皆さんにとっては、1学期に頑張った点や成長した点を確認するとともに、今後努力していきたいことについて考える機会となったのではないのでしょうか。面談での話をその場限りのものとせず、自分なりの目標と計画を立て、この夏をどのように過ごすかという具体的な行動へとつなげていくことが大切です。

さて、現在 FIFA ワールドカップ 2026 が開催されており、この学校だよりが届く頃には、いよいよ決勝戦を直前に控える時期となります。日本代表は惜しくも決勝トーナメント1回戦で敗れましたが、日本中を大いに沸かせ、代表選手たちは多くの感動を与えてくれました。個人的には、史上初となる6大会連続ゴールという偉業を成し遂げたポルトガル代表のクリスティアーノ・ロナウド選手の姿に深い感銘を受けました。ロナウド選手がワールドカップで初ゴールを挙げたのは、生徒の皆さんがまだ生まれる前の2006年ドイツ大会であり、20年にわたって代表選手として第一線で活躍してきたことになります。（保護者の皆様や教職員の皆さんは、20年前、何をしておられたでしょうか。私は国分寺一中で教員として勤務しておりました。）ロナウド選手の活躍の背景には、人一倍の努力と自らを厳しく律する姿勢があることはよく知られています。日々の練習を大切に、体調管理を徹底し、常に高い目標を掲げて自らを鍛え続ける姿は、多くの人々に感銘を与えてきました。ただ才能に恵まれているから活躍できるのではなく、自ら定めた目標に向かって、日々なすべきことを積み重ねてきたからこそ、長きにわたり高いレベルで力を発揮し続けることができるのだと思います。もちろん、ロナウド選手のように自分を厳しく律し、努力や体調管理を徹底することは容易なことではなく、まさにトップアスリートだからこそ成し得ることであります。しかし、そのすべてをそのまま真似することは難しくとも、その生き方や努力の積み重ねから学ぶべきことは大きく、目標を持ち、それに向かって少しずつ努力を継続する姿勢は、私たちも大いに見習いたいものです。

生徒の皆さんにも、この夏休みにはぜひ目標を持って生活してほしいと思います。目標は、必ずしも大きなものである必要はありません。自分に合った目標を定め、その実現に向けて毎日少しずつでも努力を重ねていくことに大きな意義があります。学習においても運動においても、すぐに大きな成果が表れるとは限りませんが、短い時間であっても継続することにより、夏休みの終わりには確かな力となり、自信にもつながっていきます。この夏休みには、何か一つ目標を定めて挑戦するとともに、規則正しい生活を心がけ、心身の健康を整えながら、充実した日々を過ごしてほしいと願っています。

改めまして、保護者、地域の皆様には、1学期の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。夏休み中は、ご家庭や地域で過ごす時間が長くなります。生徒たちが目標を持って生活し、有意義な毎日を送ることができるよう、温かく見守り、励ましていただければ幸いです。また、暑さの厳しい時期でもありますので、健康面・安全面へのご配慮につきましても、どうぞよろしくお願いいたします。

9月1日の2学期始業式には、一回り成長した元気な姿の生徒の皆さんに会えることを、楽しみにしております。